

「働き世代から始める、禁煙とCOPD 対策～COPD予防と治療の最前線」

階段の上り下りなど体を動かしたときに息切れを感じたり、風邪でもないのにせきやたんが続いたりすることはありませんか？ その症状、もしかしたら肺の生活習慣病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）かもしれません。

喫煙者に多くみられるCOPDは、2005年度統計では約550万人の潜在患者がいると推計されていますが、そのうち治療を受けている患者数は5%不足といわれています。症状がさらに進行すると呼吸不全や心不全を起こす命に関わる病気ですので、早期発見、早期治療が重要です。

今回のセミナーでは、予防医学の最前線から、喫煙・受動喫煙による健康への影響、COPD早期発見のポイント、最新の治療法などをわかりやすくお話しします。

参加費
無料

◎日時 平成26年**12月8日**(月) 18:30～20:30 (開場 18:00)

◎会場 **東医健保会館** [JR信濃町駅下車
徒歩5分]
(新宿区南元町4番地)

◎定員 **250名** ◆お申込みは、裏面をご覧ください。

「働き世代から始める、禁煙とCOPD対策～COPD予防と治療の最前線」



基調講演：「予防医学の最前線—
喫煙による健康への影響やCOPDの早期発見」

別役 智子先生 慶應義塾大学 医学部内科学教室呼吸器内科 教授



基調講演：「COPDの病態と治療—
合併症の怖さをご存知ですか？」

金澤 實先生 埼玉医科大学病院 病院長 呼吸器内科 教授

司会 **鈴木 恒雄先生** 医療法人社団こころとからだの元氣プラザ 理事 呼吸器内科医
日本内科学会内科専門医、日本呼吸器学会指導医



◎主催 医療法人社団 **こころとからだの元氣プラザ** / 一般財団法人 **東京顕微鏡院**

◎後援 厚生労働省、東京都、**健康日本21推進全国連絡協議会**、日本栄養士会、東京都栄養士会

※本セミナーは中央労働災害防止協会のTHPレベルアップ研修会に認定されています(受講により1単位が取得できます)。

◎シリーズ『働きざかりから始める、人生80年時代の健康づくり』

戦後、わが国の平均寿命は、生活環境の改善や、医学の進歩により急速に伸び、厚生労働省の平成25年簡易生命表によると、男性の平均寿命は80.21年、女性の平均寿命は86.61年です。しかしその一方で、現代の食生活、運動習慣などを原因とする生活習慣病が増え、その結果、寝たきりなどの要介護状態になってしまう人々が増加しています。

このシリーズは、特に働きざかりからの健康づくりの重要性に着目し、時代の先を見つめ、先駆的な視点から「健康寿命(寝たきりにならない状態で自立して生活できる期間)の延伸」や「生活の質の向上」に役立つ講演を企画することに努めています。